

くろかわ 黒川地区（熊本県南小国町）

1 地区概要

当地区は阿蘇九重国立公園に接する黒川地区は、筑後川の源流である田の原川が流れ、周辺を山々の自然に囲まれた閑静で緑豊かな居住環境と温泉地としての性格を有する地域である。湯治温泉場であり、江戸時代より諸大名の旅の宿として利用されていた歴史を持ちがあり、今もその名残を残しながら、素朴な住民の温かさが感じられる田舎らしい雰囲気づくりに工夫している。これまでの住民によるまちづくりに加え、観光客の増加や観光開発に伴い、歩行者の安全性や快適性と良好な住環境の保全が望まれる地区である。

2 所在地

熊本県阿蘇郡南小国町大字満願寺黒川地内

3 地区面積

約 52.1ha

4 事業概要

(1) 整備内容

- ・多目的集会施設整備
- ・道路美装化（下川端通り・さくら通り・いご坂・柿の木坂等）
- ・小公園の整備（駐在所横・いご坂横・温泉公園・中曽根等）
- ・その他修景整備（サイン整備・照明灯の整備・擁壁緑化・橋修景・防護策等）
- ・住宅に関する整備など

(2) 事業期間

平成 14 年度～平成 23 年度（概ね 10 年間）

(3) 総事業費

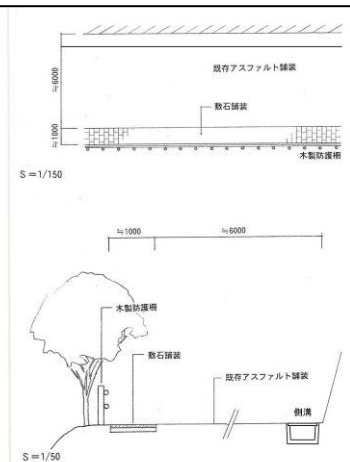
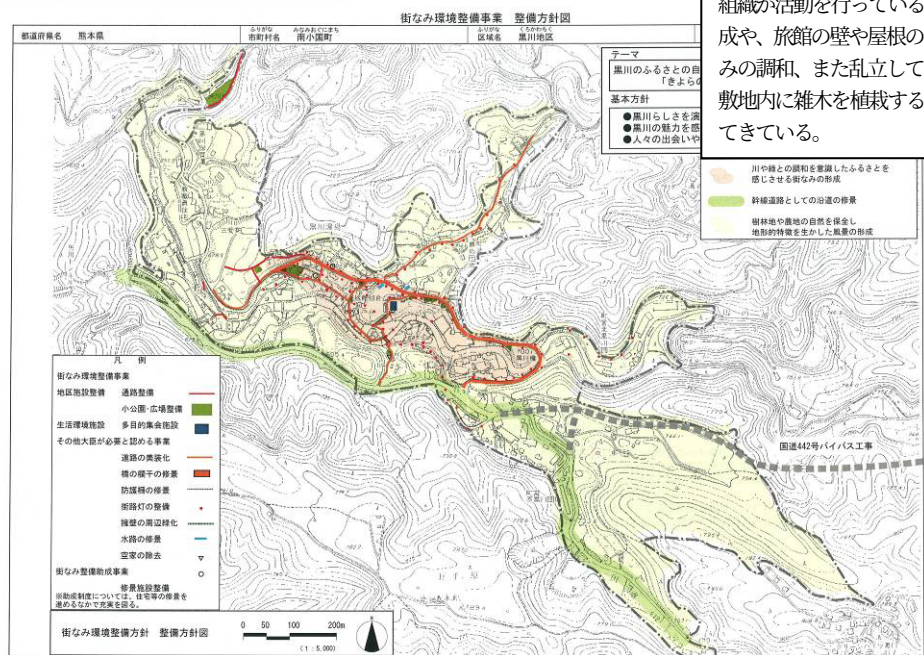
約 4 億円

地区現況及び整備前の状況

地区道路事情は南側を幅員 10m の国道 442 号が走り、町道 2 路線が連携して地区内に誘導している。しかし、2 路線とも幅員が非常に狭く、特に地区の中心を通る(通称)川端通りは、幅員が 2.5m しかなく、土日は一方通行の規制をするものの非常に混雑している。地区内のその他の道路も幅員 4m 以下と狭いため歩行者の安全性に問題がある。地区内に公園等は配置されておらず、住民のコミュニケーションの場としては共同浴場が利用されている。

自治会を中心に、八日会、商栄会、旅館組合等のいくつかの下部組織が活動を行っている。民家の土蔵修理の際の旅館組合による助成や、旅館の壁や屋根の色を黒、茶を基調とする色使いによる街なみの調和、また乱立していた看板を撤去し共同看板を設置、さらに敷地内に雑木を植栽するなど、地区全体で積極的に景観形成に努めてきている。

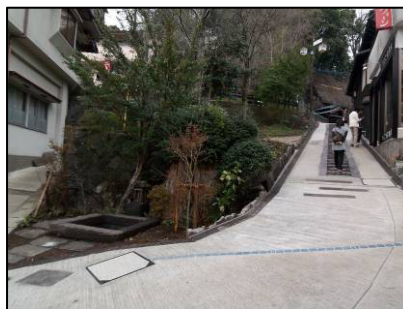
位置図（整備方針図）



整備計画図（さくら通り）



整備された多目的集会所



整備されたいご坂及び小公園



イメージ図（さくら通り）